

凡例

◎	今回のボーリング位置
⊕	平成 14 年実施 既存ボーリング位置
●	平成 4 年実施 既存ボーリング位置
▲	昭和 51 年実施 既存ボーリング位置

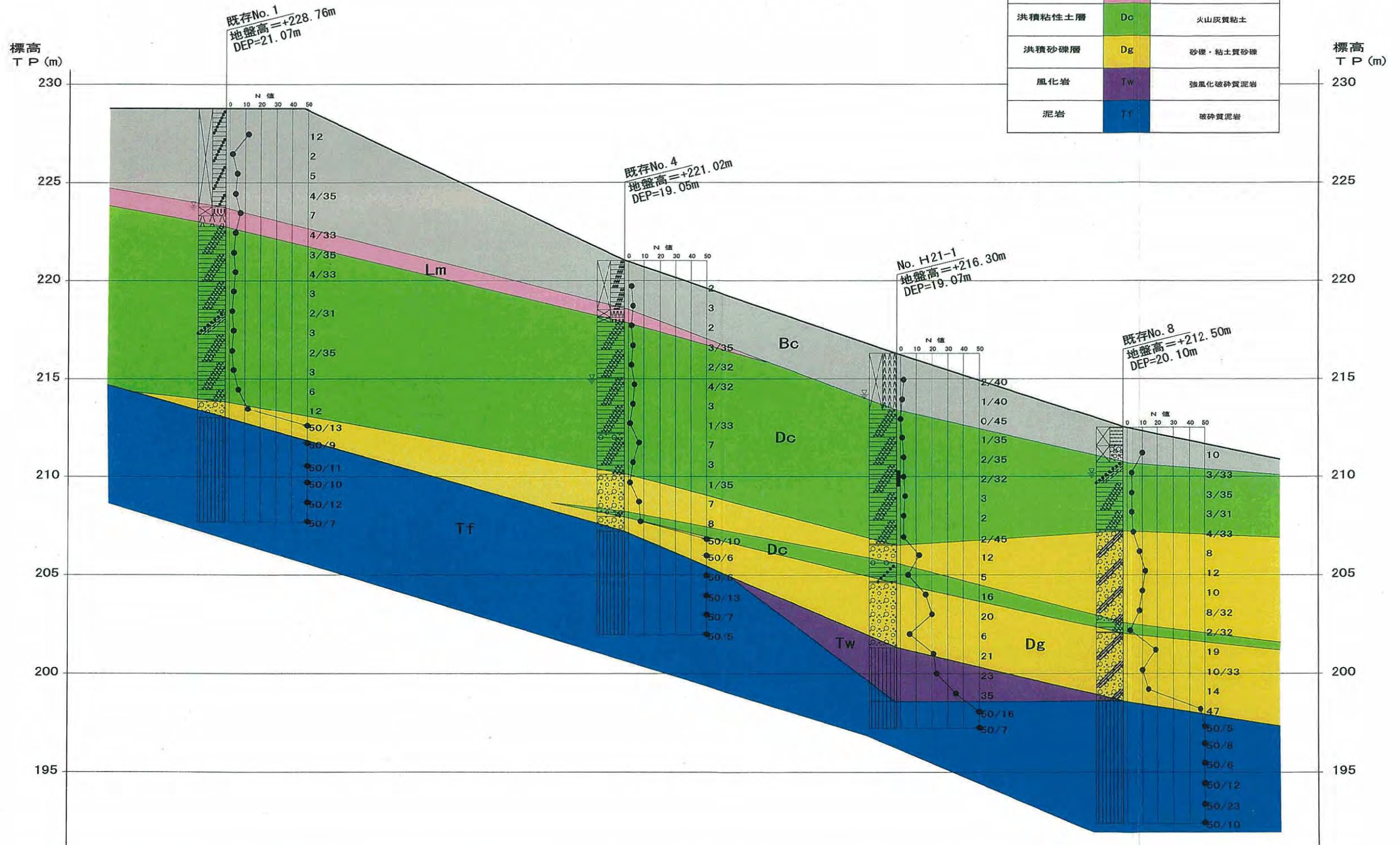
断面線図 縮尺 1:1000

# 推定地質断面図① (谷)

縮尺 縦 1:200  
横 1:500

地質断面図凡例

地層名	記号	土質名
盛土層	Bc	ローム・粘土・礫
関東ローム層	Lm	ローム
洪積粘性土層	Dc	火山灰質粘土
洪積砂礫層	Dg	砂礫・粘土質砂礫
風化岩	Tw	強風化破碎質泥岩
泥岩	Tf	破碎質泥岩

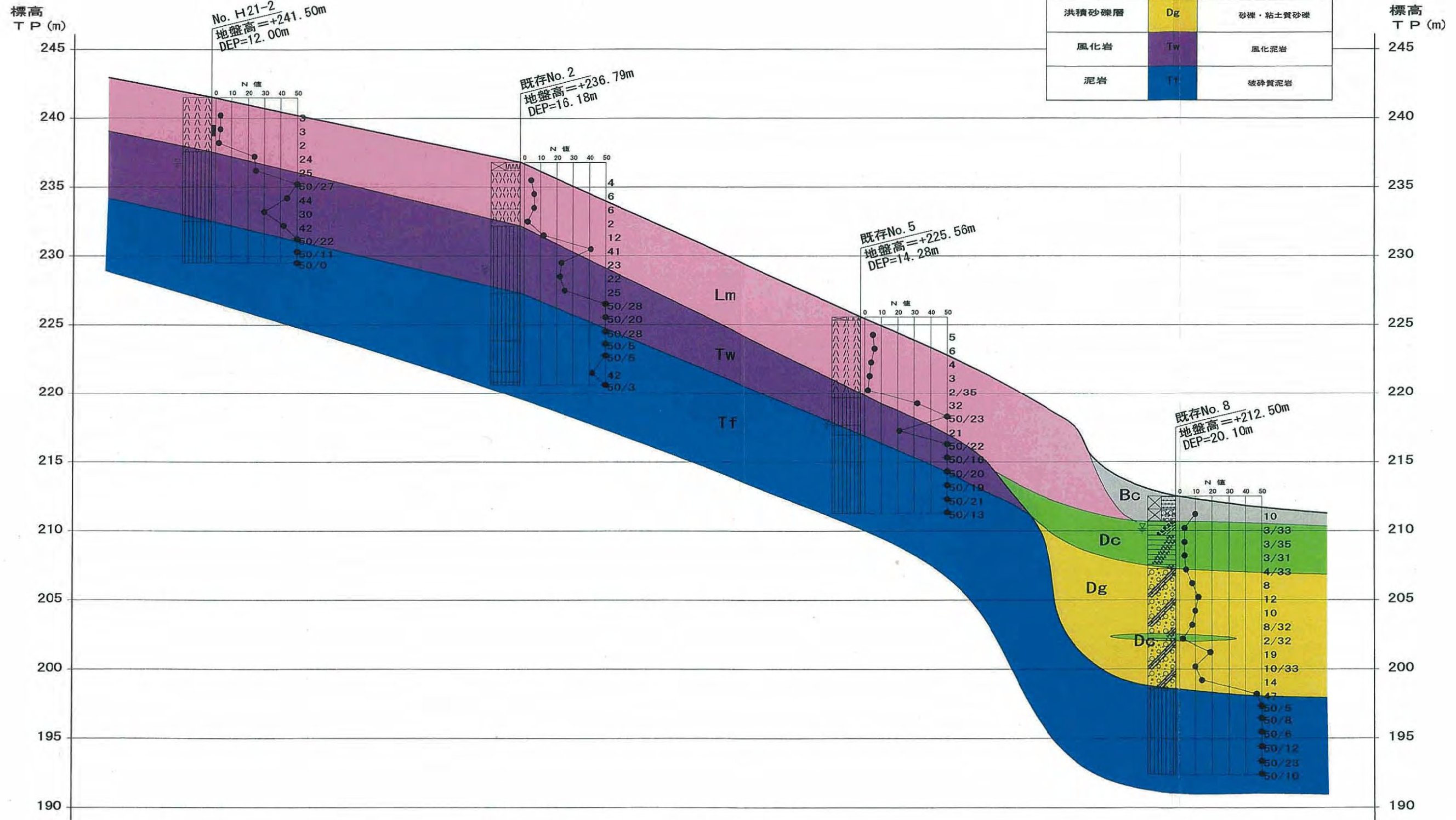


# 推定地質断面図② (尾根)

縮尺 縦 1:300  
横 1:600

地質断面図凡例

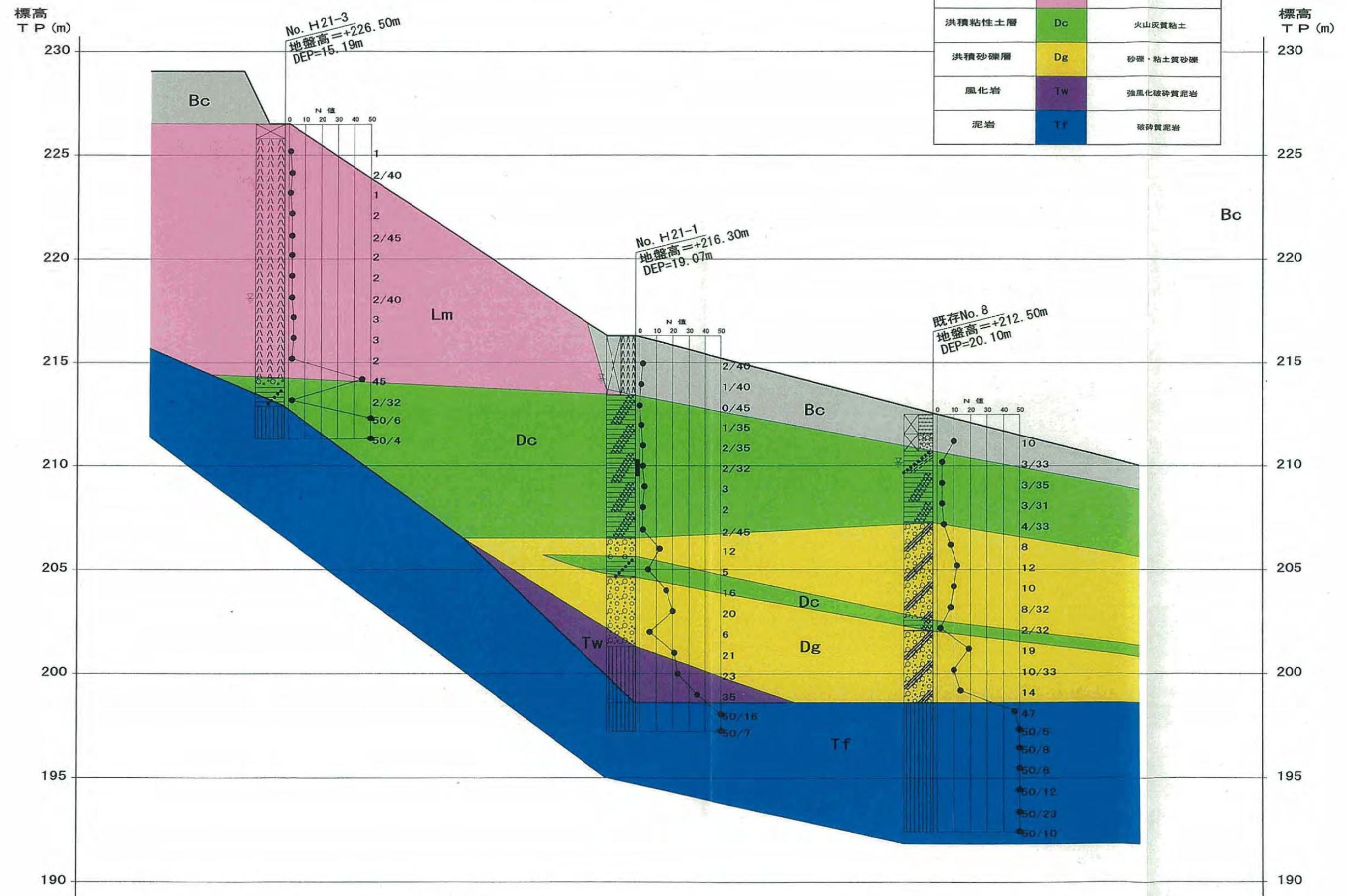
地層名	記号	土質名
盛土層	Bc	ローム・粘土・礫
関東ローム層	Lm	ローム・粘土質ローム
洪積粘性土層	Dc	火山灰質粘土
洪積砂礫層	Dg	砂礫・粘土質砂礫
風化岩	Tw	風化泥岩
泥岩	Tf	破碎質泥岩

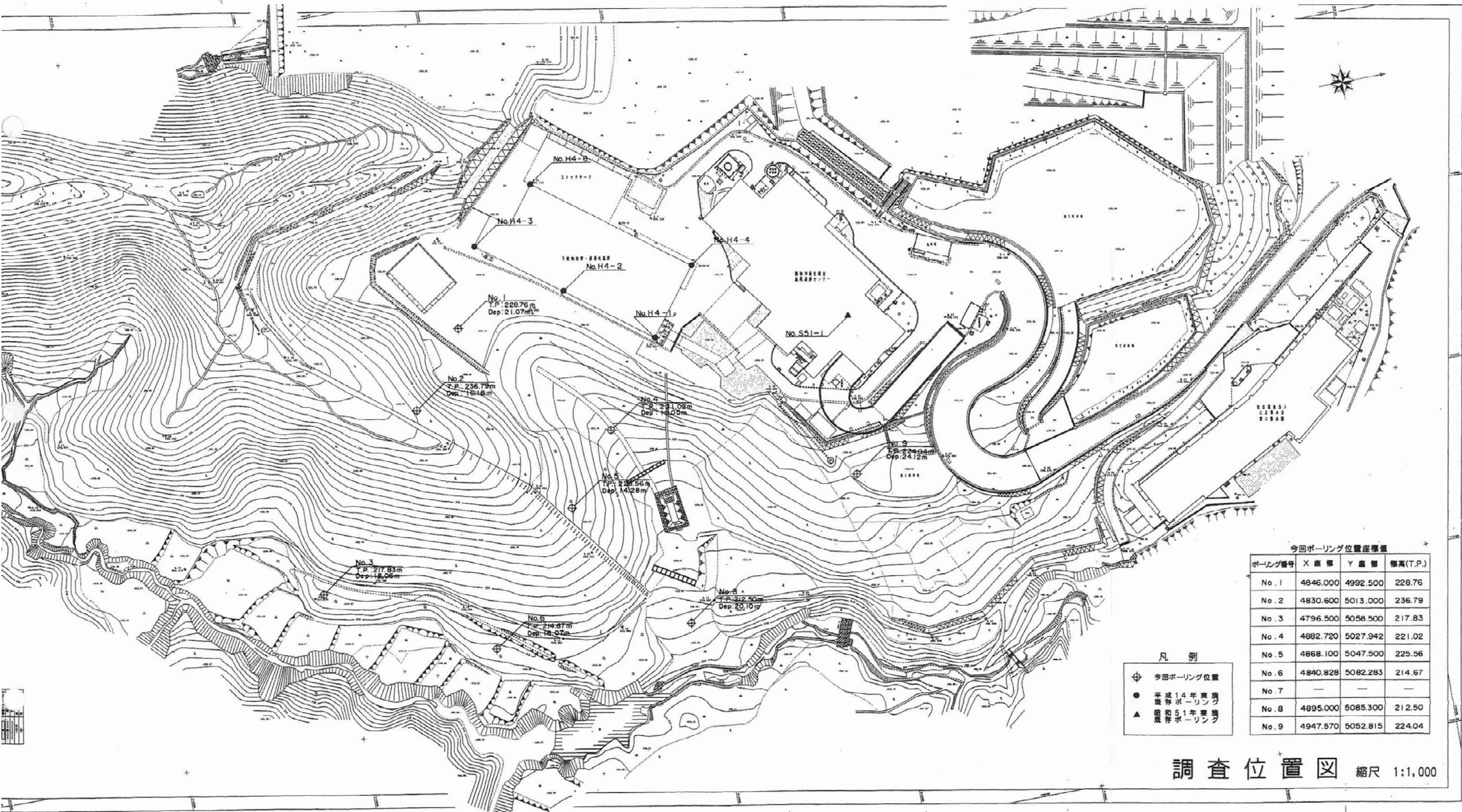


推定地質断面図③ (斜面) 縮尺 縦 1:200 横 1:400

地質断面図凡例

地層名	記号	土質名
盛土層	Bc	ローム・粘土・礫
関東ローム層	Lm	ローム
洪積粘性土層	Dc	火山灰質粘土
洪積砂礫層	Dg	砂礫・粘土質砂礫
風化岩	Tw	強風化破碎質泥岩
泥岩	Tf	破碎質泥岩





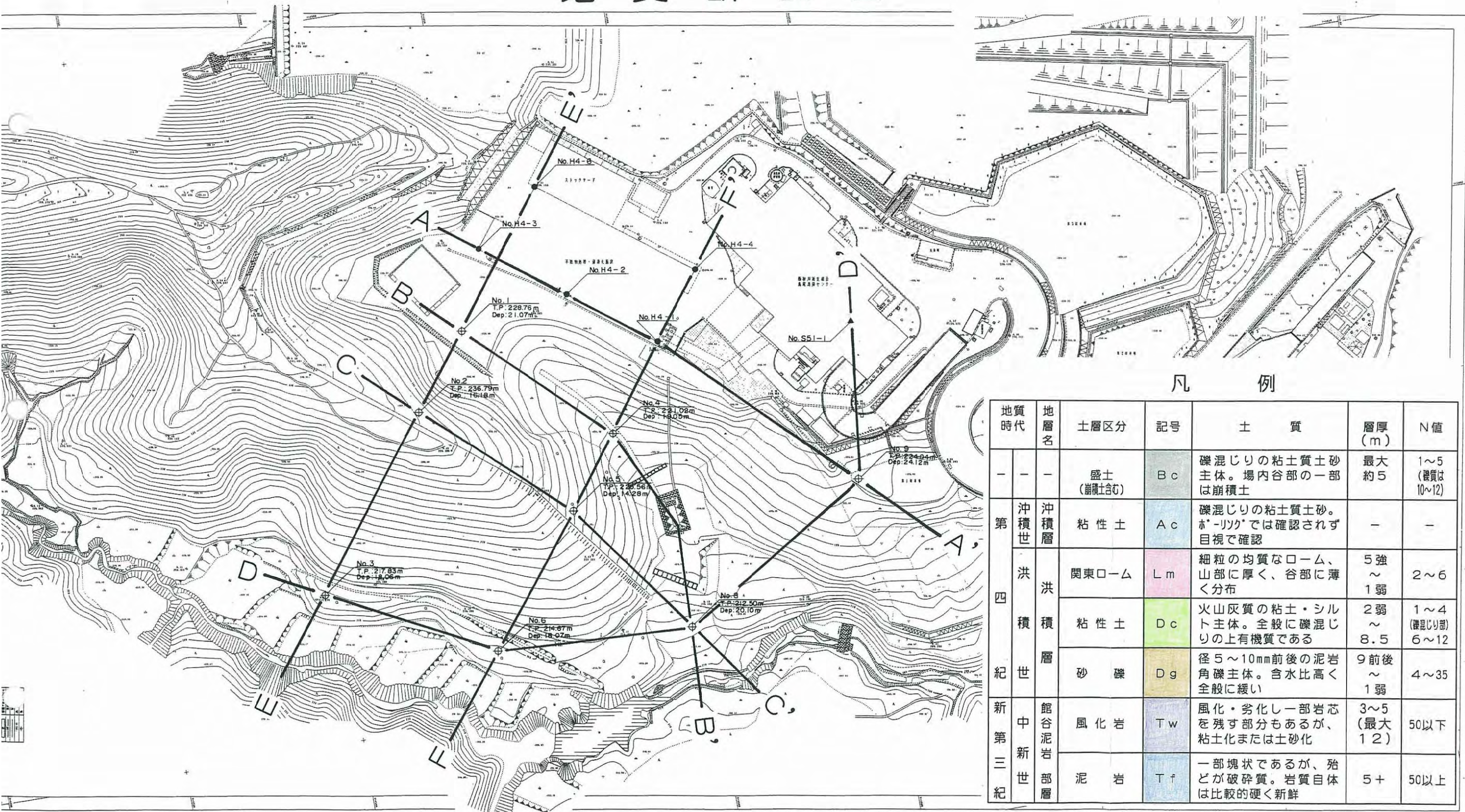
今回ボーリング位置座標値

ボーリング番号	X座標	Y座標	標高(T.P.)
No. 1	4846.000	4992.500	228.76
No. 2	4830.600	5013.000	236.79
No. 3	4796.500	5058.500	217.83
No. 4	4882.720	5027.942	221.02
No. 5	4868.100	5047.500	225.56
No. 6	4840.828	5082.283	214.67
No. 7	—	—	—
No. 8	4895.000	5085.300	212.50
No. 9	4947.570	5052.815	224.04

- 凡例
- ⊕ 今回ボーリング位置
  - 平成14年実施ボーリング
  - ▲ 昭和51年実施ボーリング

調査位置図 縮尺 1:1,000

# 地質断面図

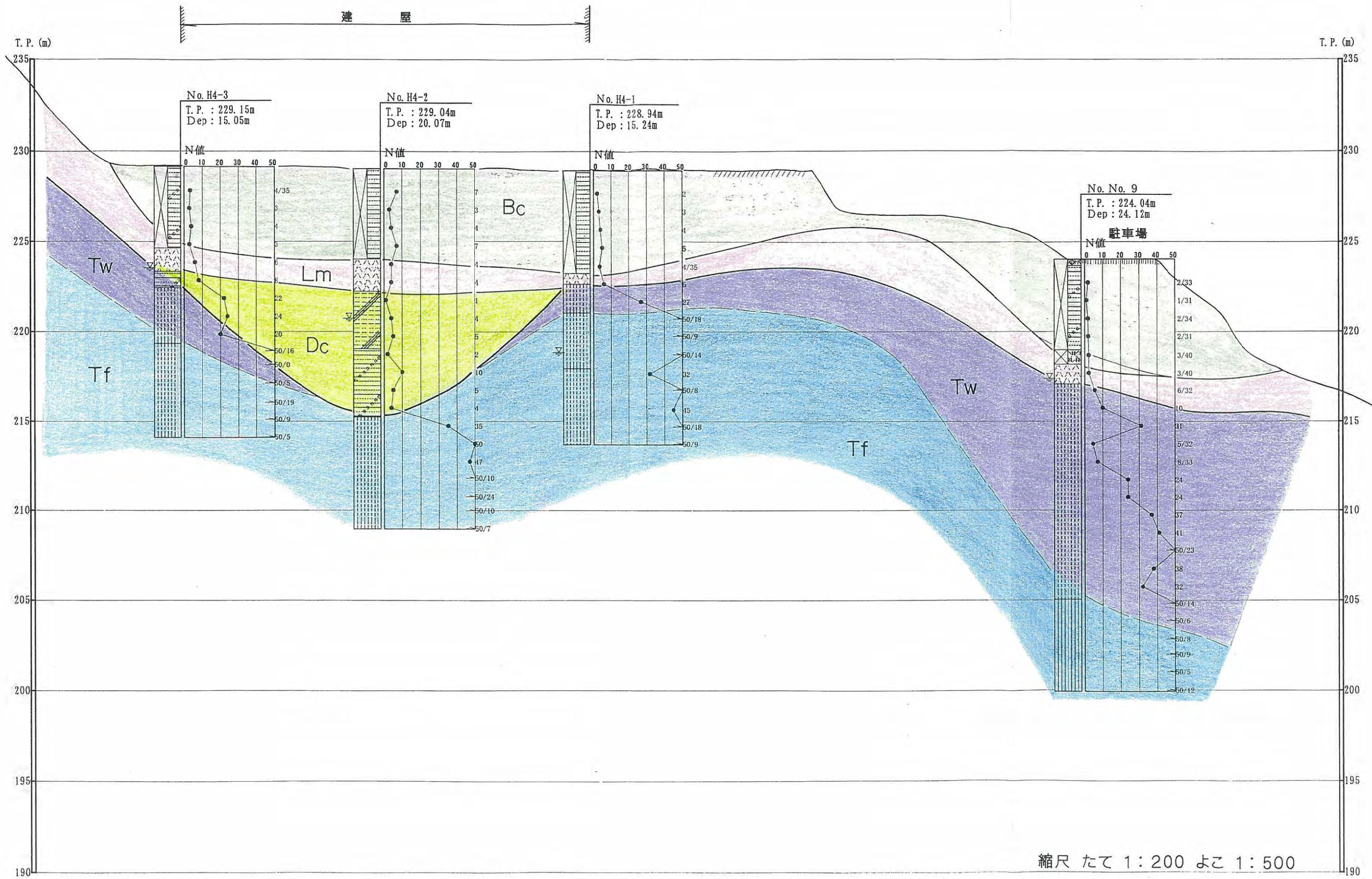


凡例

地質時代	地層名	土層区分	記号	土質	層厚 (m)	N値
-	-	盛土 (崩積土等)	Bc	礫混じりの粘土質土砂主体。場内谷部の一部は崩積土	最大約5	1~5 (礫質は10~12)
第四紀	沖積層	粘性土	Ac	礫混じりの粘土質土砂。ホ・リツクでは確認されず目視で確認	-	-
		関東ローム	Lm	細粒の均質なローム、山部に厚く、谷部に薄く分布	5強 ~ 1弱	2~6
	洪積層	粘性土	Dc	火山灰質の粘土・シルト主体。全般に礫混じりの上有機質である	2弱 ~ 8.5	1~4 (礫混じり部 6~12)
		砂 礫	Dg	径5~10mm前後の泥岩角礫主体。含水比高く全般に緩い	9前後 ~ 1弱	4~35
新第三紀	館谷泥岩部層	風化岩	Tw	風化・劣化し一部岩芯を残す部分もあるが、粘土化または土砂化	3~5 (最大12)	50以下
		泥岩	Tf	一部塊状であるが、殆どが破碎質。岩質自体は比較的硬く新鮮	5+	50以上

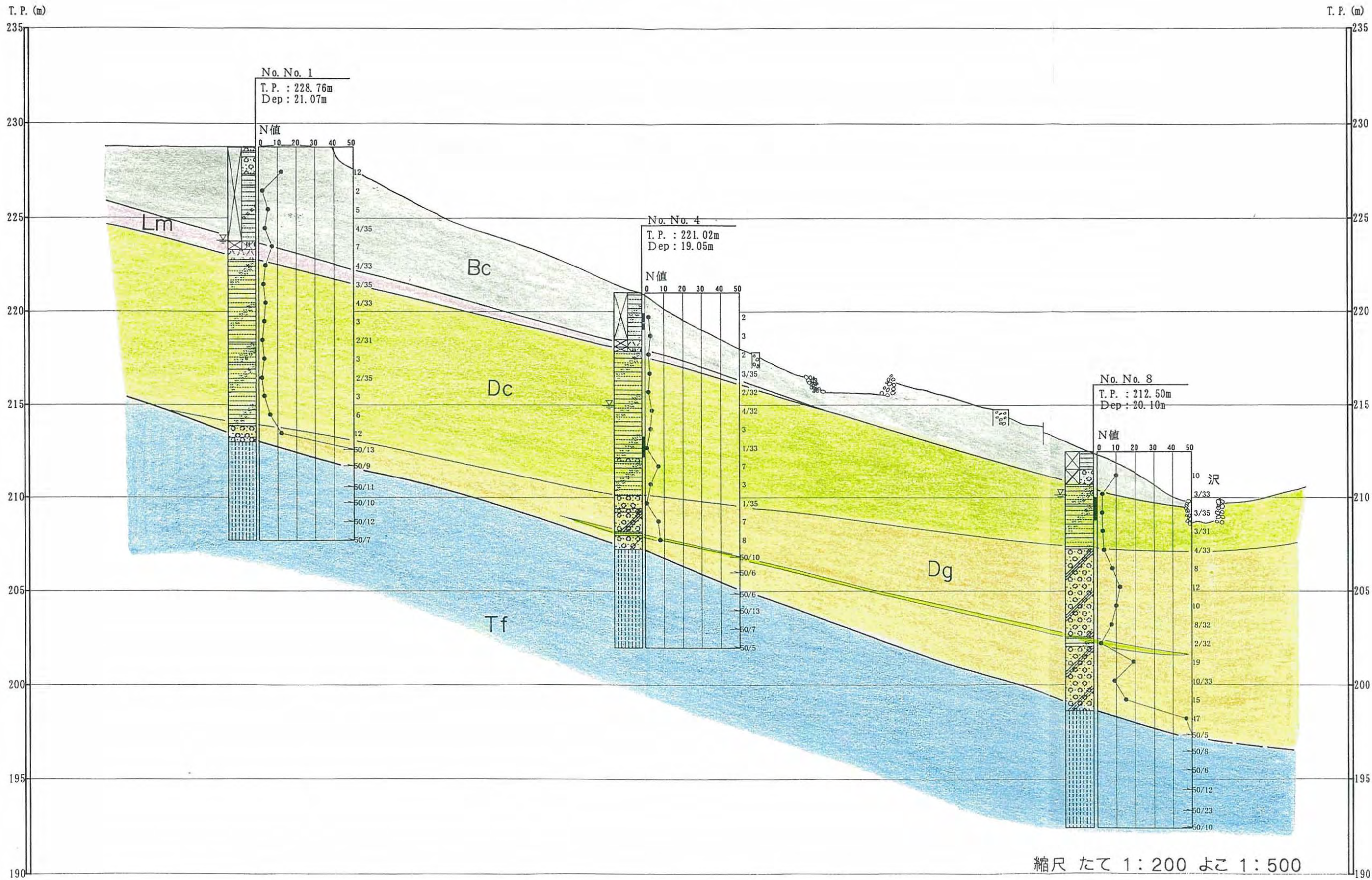
断面方向線図 縮尺 1:1,000

A — A'



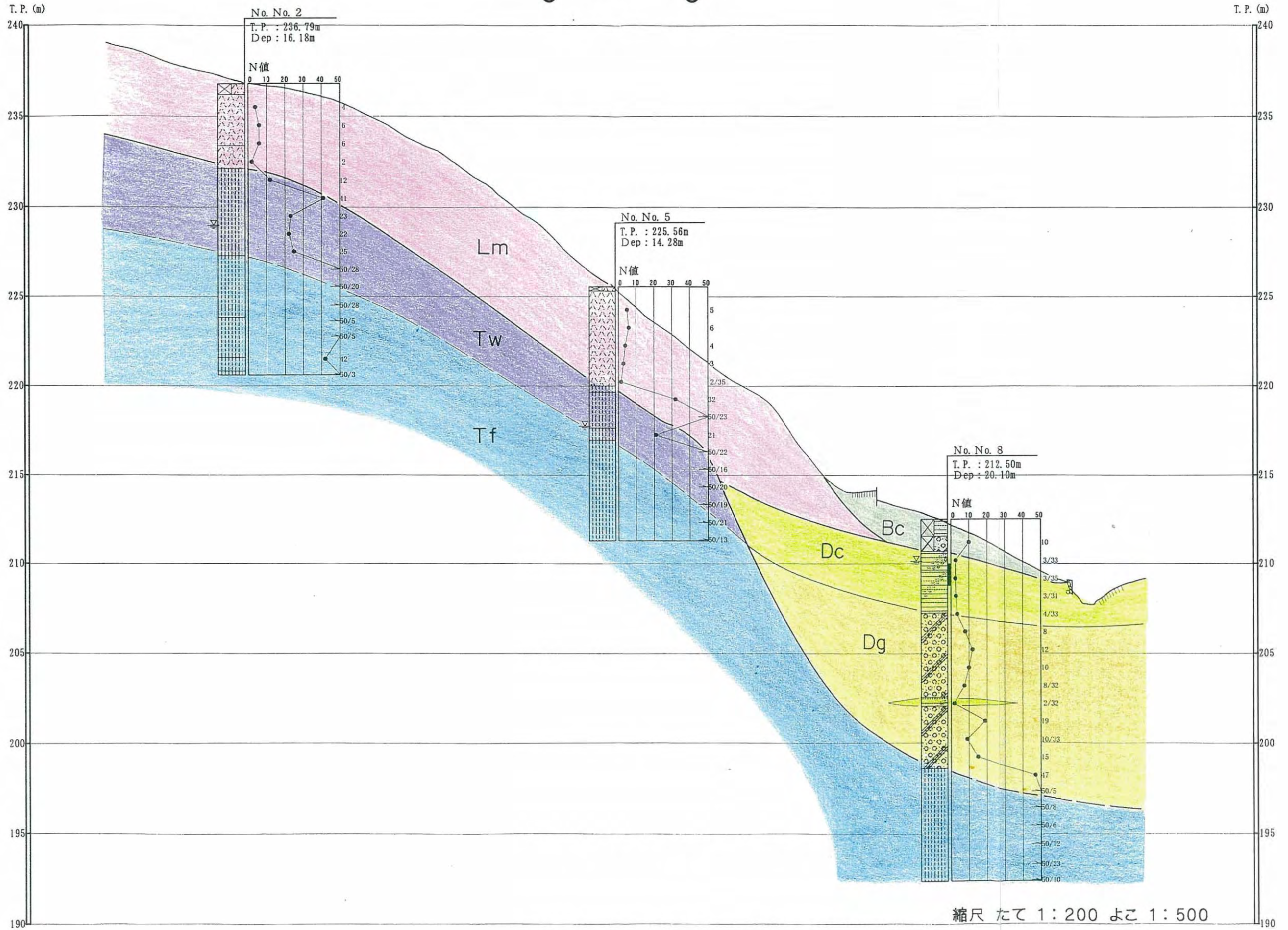
縮尺 たて 1:200 よこ 1:500

B — B'



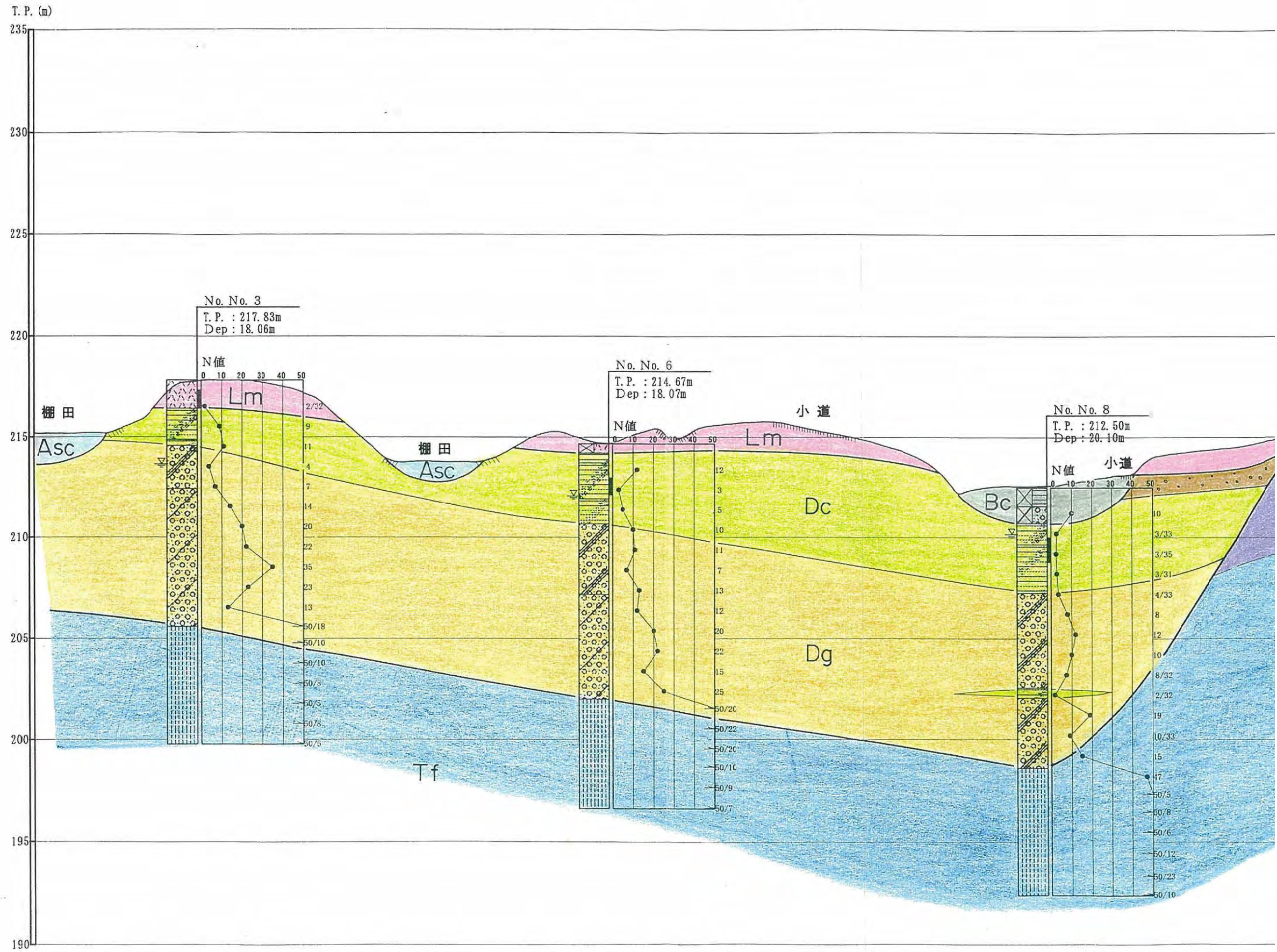


C - C'

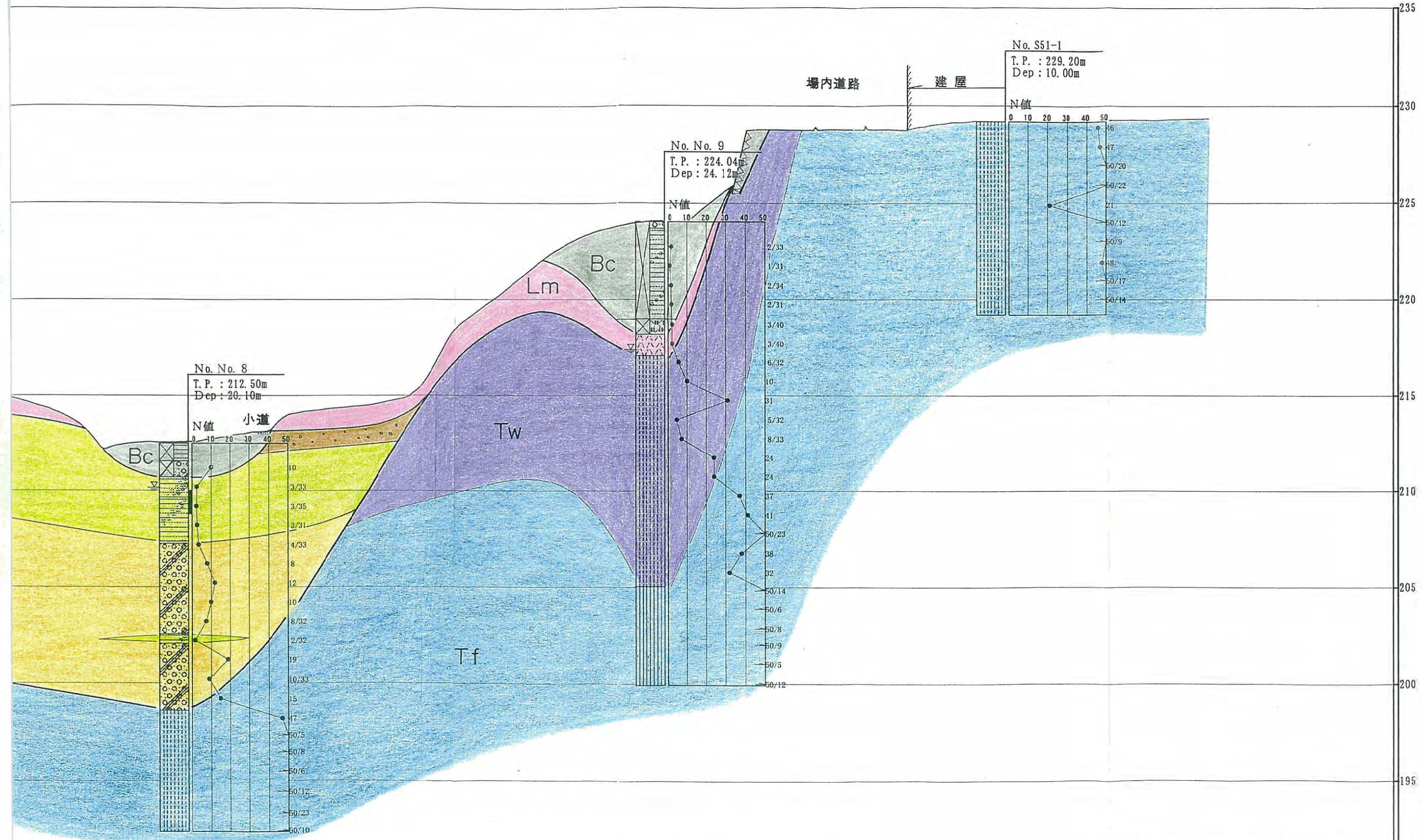


縮尺 たて 1:200 よこ 1:500

D — D'

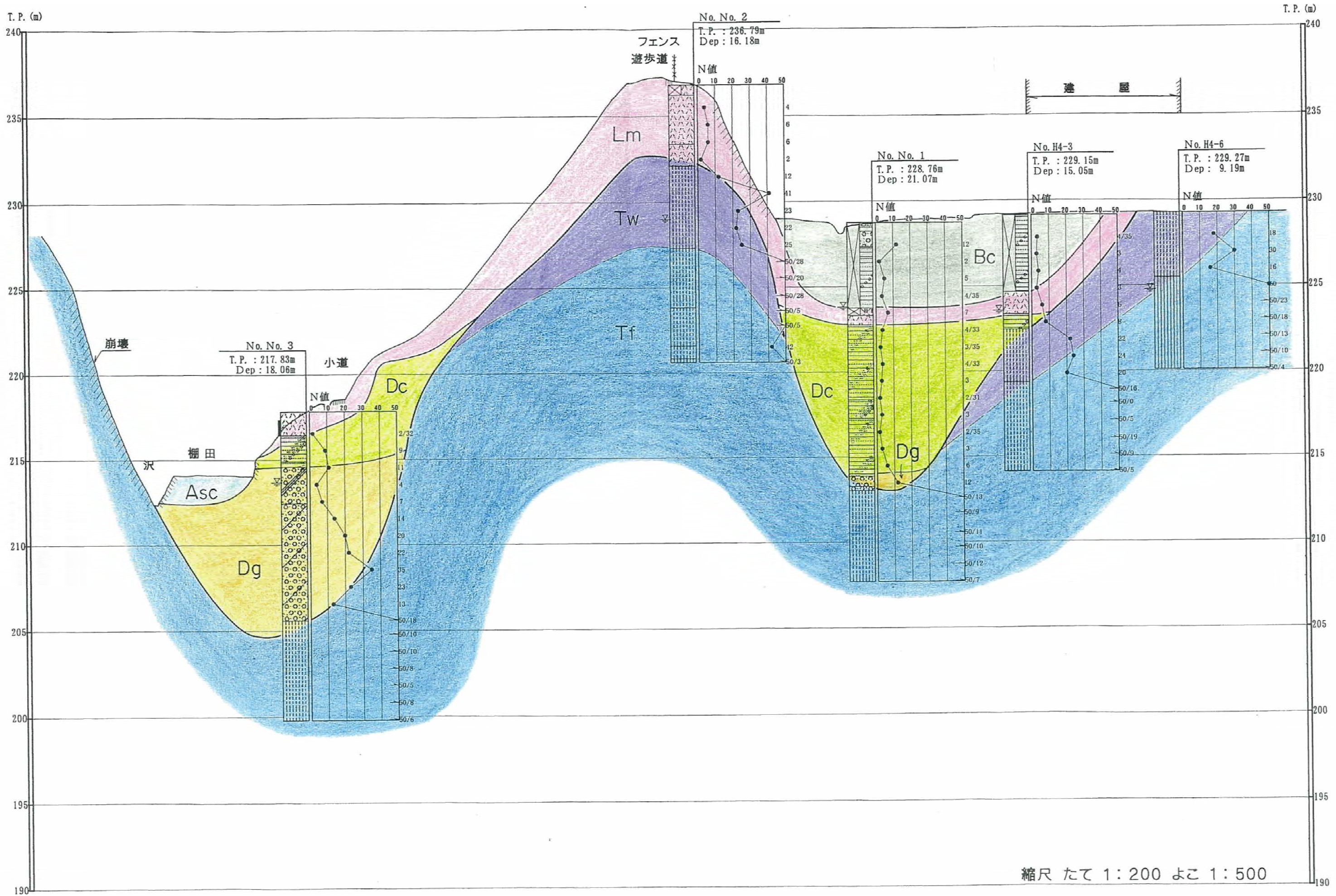


T. P. (m)



縮尺 たて 1:200 よこ 1:500

# E - E'



縮尺 たて 1:200 よこ 1:500

# F - F'

